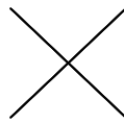


2021 年 10 月 27 日

## Craif、東京慈恵会医科大学が共同研究契約を締結 「尿中エクソソーム miRNA を用いた肺がん体液診断の開発」による ＜肺がんの早期発見＞＜術後再発予測＞＜効果予測バイオ マーカーとしての活用＞の実現を探索

Craif 株式会社（所在地：東京都文京区、CEO：小野瀬 隆一、以下 Craif）は、東京慈恵会医科大学（所在地：東京都港区、学長：松藤 千弥）と「尿中エクソソーム miRNA を用いた肺がん体液診断の開発」についての共同研究契約を締結しました。本契約の締結により東京慈恵会医科大学 エクソソーム創薬研究講座（研究責任者：藤田 雄）と共同研究を開始いたしました。



東京慈恵会医科大学

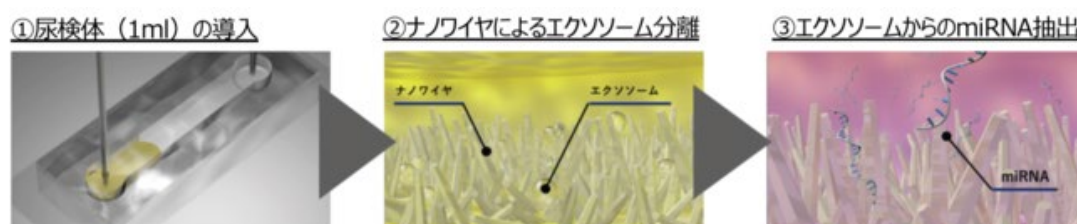
### ■研究概要

肺がんにおいて、既存の診断・再発予測・治療効果予測バイオマーカーの感度はまだ十分とは言えません。一方、これまでの研究で肺がん患者の尿中には、癌特異的なエクソソーム miRNA が分泌されることが分かっており、肺がんにおける非侵襲診断バイオマーカーとして応用できる可能性があります。非侵襲的な尿検体を用いて解析することにより、肺がんにおける超早期診断、術後再発予測、また免疫チェックポイント阻害剤などの治療効果や副作用予測などに関して評価を行い、患者に優しいがん個別化医療の発展を目指します。

### ■Craif について

Craif は、2018 年 5 月創業の名古屋大学発ベンチャー企業です。日本が誇る素材力を用いて尿からエクソソームを網羅的に捕捉し、AI（人工知能）を組みあわせて医療に応用す

ることで、現在のがん診療が抱えるさまざまな課題解決に取り組んでいます。当社が開発した酸化亜鉛ナノワイヤデバイスを用いることで、従来法より簡便かつ効率的にエクソソーム・細胞外小胞を網羅的に捕捉することができます。エクソソームは細胞間情報伝達の媒体であるため、中に含まれる核酸やタンパク質などの様々な“メッセージ物質”について解析することで、細胞間コミュニケーションと深い関わりがあるがんをはじめとした多くの疾患について理解を深めることができます。本技術を応用することで、わずか一滴の尿から高精度でがんを早期発見する検査や、一人ひとりに最適な治療の選択が可能となる検査の開発に取り組んでいます。



当社は、本技術を次世代のバイオマーカー解析サービスとして提供し、医療・ヘルスケア領域を中心にあらゆる企業・アカデミアとの協業を通じて、当社のビジョンである“人々が天寿を全うする社会の実現”を推進いたします。詳細については、<https://craif.com/>をご覧ください。

---

【本件に関するお問合せ先】

Craif 株式会社

広報：坂本 麻美

メールアドレス：[asami.sakamoto@craif.com](mailto:asami.sakamoto@craif.com)

学校法人 慈恵大学

経営企画部 広報課

TEL：03-5400-1280

メールアドレス：[koho@jikei.ac.jp](mailto:koho@jikei.ac.jp)